

【開催案内 2013/4/11】科学技術政策研究所講演会のお知らせ

科学技術政策研究所による講演会を、下記のとおり開催致しますので、皆様ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、お手数ですが参加を希望される方はご所属・お名前を 4 月 10 日(水)17 時まで、メールにて予めお知らせいただきますようお願い申し上げます。

(会場の都合により出席者を調整させていただく場合があります。)

記

○演題: 「新しいツールとテクノロジーが変える科学研究環境と研究者コミュニケーション」

○講師: Timo Hanny 氏 (デジタルサイエンス社総括取締役)

○日時: 2013 年 4 月 11 日(木) 15 時 00 分~17 時 30 分 (受付開始 14 時 30 分)

○場所: 新霞が関ビル LB 階 201D 号室 科学技術政策研究所会議室

○言語: 英語(逐次通訳を行う予定)

○講演趣旨:

Web の登場以来、研究情報の受発信環境は大きく変わり、研究者の研究スタイルが大きく変化しましたが、現在新たな変革期に入ろうとしています。論文だけでなく、研究データ、研究者、研究機関、あるいは研究費などが比較的容易に識別できることになり、多様で複合的な情報収集が可能となり、それらの情報を横断的に解析することで、研究者や研究機関のパフォーマンスの測定が技術的には行える時代となりました。

今回、世界の科学技術・学術出版をリードし、さらに、最先端の研究情報の収集と解析に役立つツールの開発に取り組みされている Timo Hanny 氏を講師にお迎えし、研究情報の受発信に関する新しい環境や最近生まれた新しいツールが研究者の世界をどのように変えていくかをお話いただきます。また、引き続きイノベーションを生み出す可能性や政策にどのような影響を与えうるものかについて、討論を行いたいと思います。

○講師経歴:

デジタルサイエンス社総括取締役。同社は英出版社マクミラン社の子会社として 2010 年後半に創立され、Altmetric, SYMPLECTIC など研究者のための新しい情報サービスツールを提供する。前職は、マクミラン社の子会社であるネイチャー・パブリッシング・グループに所属し、nature.com の責任者をはじめ、様々なオンラインサービスに従事。

研究神経生理学者、ジャーナリスト(エコノミスト誌及びネイチャー誌)、経営コンサルタント(マッキンゼー社)の多彩な経歴も持つ。

○講演内容についてのお問い合わせ:

科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター (担当: 林)

Tel: 03-3581-0605

E-mail: stfc@nistep.go.jp

○講演会の参加申し込み:

科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター (担当: 吉田)

Tel: 03-3581-0605

E-mail: seminar-stfc-b@nistep.go.jp

○申し込み締め切り: 4 月 10 日(水) 17:00